

| | |
|------------|-------------|
| 講義科目 : 地域史 | 単位数 : 2 |
| 担当 : 山崎 智博 | 学習形態 : 選択科目 |

講義の内容・方法および到達目標

- ・近現代を中心に三重県の都市や地域がどのように形成されてきたのかを理解していくことを目標にします。
- ・三重県の都市や地域の特徴や課題を歴史的な視点で考えていけることを目標とします。

授業計画

- 第1回 三重県の近現代(ガイダンス)
- 第2回 明治の三重①(三重県の誕生と市制町村制の施行)
- 第3回 明治の三重②(鉄道の開設と三重)
- 第4回 第1次世界大戦後の三重①(県内私鉄鉄道の消長と電化)
- 第5回 第1次世界大戦後の三重②(三重県下における都市計画法の実施)
- 第6回 昭和恐慌期・戦時体制期の三重①(商業の近代化と大門百貨店・道路交通網の整備)
- 第7回 昭和恐慌期・戦時体制期の三重②(名松線の建設・鉄道の統廃合と近畿日本鉄道の誕生)
- 第8回 昭和恐慌期・戦時体制期の三重③(都市計画事業の実施と戦争)
- 第9回 昭和恐慌期・戦時体制期の三重④(戦時下の都市計画・国民精神と都市計画)
- 第10回 戦後復興期の三重①(戦災と戦災復興計画)
- 第11回 戦後復興期の三重②(復興期の交通)
- 第12回 高度成長期の三重①(流通の近代化と商店街)
- 第13回 高度成長期の三重②(鉄道交通と観光開発の進展)
- 第14回 低成長期の三重①(道路交通網の整備と地域交通)
- 第15回 低成長期の三重②(大型店の伸長と都市・観光)

教材・テキスト・参考文献等

- ・テキストは特に指定しない。
- ・参考文献：『三重県史 近現代1』2015
『三重県史 近現代2(上)(下)』2019

成績評価方法

- ・定期試験(80%)、平常点(20%)で成績評価を行います。
- ・出席は毎回とります。小テストを1回実施します。
- ・平常点は出席および小テストの結果で評価します。
- ・欠席が3分の1を超えると成績評価の対象外となります。

その他

- ・地図、写真、映像等を適宜使用する予定です。
- ・地図や映像資料等を扱うので授業の進行速度は調整することがあります。